

■米国：AEP 社、米国最大規模の風力発電事業を買収

2017年7月28日付の報道によれば、American Electric Power 社（AEP）は、オクラホマ州の米国最大規模の風力発電事業（“Wind Catcher Energy Connection”）を買収すると発表した。この事業は Invenergy 社および GE Renewable Energy 社が現在開発を進めているもので、2,500kW の風力発電機 800 基を設置する、総出力 200 万 kW のプロジェクト。AEP は、事業予定地から需要地までの約 560km の送電線も建設し、発電した電力は、AEP の小売子会社が引き取り、オクラホマ州他の顧客に販売する。現在、販売先各州の規制機関に認可申請中であり、2020 年に完成予定である。建設費用は約 45 億ドルで、AEP によれば、25 年の事業予定期間で約 70 億ドルを顧客に還元できるとしている。AEP のニコラス・エイキンス CEO は、「よりクリーンなエネルギーへのシフトに対して、社会の期待があるのは明らかである。今回の投資は、これまで石炭に依存してきた AEP の電源構成を見直す良い機会になる」と述べている。AEP は、2012 年までに約 720 万 kW の石炭火力を閉鎖、これによって、AEP の電源構成のうち 70%を占めていた石炭火力は、現時点で 47%にまで減少している。